

III. 研究運営委員会

研究運営委員会は表III-1 に示すように、研究実施者と外部有識者によって構成されている。外部有識者としては、学識経験者、省府庁防災担当者ならびに都県防災担当者にご協力いただいた。委員長は代表研究機関の機関代表者であり、座長は初年度より引き続き東京大学・岡部教授にお願いしている。

研究運営委員会は、表III-2 に示すとおり、当初予定通り2回開催された。第2回研究運営委員会では、減災情報共有プラットフォームの定義とその枠組みを明確にし、また最終年度の実証実験へ向けた準備状況を報告した。その結果、委員より研究の方向性については妥当との評価を得たが、プラットフォームを構成する要素技術の開発が完了していないため、目に見える形で成果を示すことが要求された。そこで、次年度の第1回研究運営委員会は、実証実験のプロトタイプシステムの開発が終わり、システム統合を確認した段階で実施することとした。

表III-1 平成17年度研究運営委員会委員構成表

| 委員 | 所属 | 備考 |
|---------|---|----------|
| (研究実施者) | | |
| ○片山 恒雄 | (独)防災科学技術研究所 理事長 | 代表者、委員長 |
| 後藤 洋三 | (独)防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター 川崎ラボラトリーセンター 所長 | サブテーマ責任者 |
| 角本 繁 | 同上 副所長 | |
| 鈴木 猛康 | 同上 チームリーダー | サブテーマ責任者 |
| 浦山 利博 | 同上 チームリーダー | サブテーマ責任者 |
| 末富 岩雄 | 同上 副チームリーダー | サブテーマ責任者 |
| 目黒 公郎 | 東京大学生産技術研究所 教授 | サブテーマ責任者 |
| 寺木 彰浩 | (独)建築研究所 住宅・都市研究グループ主任研究員 | 機関代表者 |
| 座間 信作 | (独)消防研究所 基盤研究部 防災研究グループ長 | 機関代表者 |
| 久田 嘉章 | 工学院大学 建築学科 教授 | 機関代表者 |
| 関澤 愛 | 東京大学 大学院工学系研究科 教授 | 機関代表者 |
| 野田五十樹 | 産業技術総合研究所 サイバーアシスト研究センターマルチエージェント研究チーム長 | 機関代表者 |
| 竹内 郁雄 | 東京大学 情報理工学系研究科 教授 | 機関代表者 |
| 末松 孝司 | 安全・安心マイプラン 主任研究員 | 機関代表者 |
| 大場 良二 | 三菱重工業(株) 長崎研究所 流体研究室技監・主幹研究員 | 機関代表者 |
| 菜花 健一 | 東京ガス(株) 防災供給部 防災供給グループ 課長 | 機関代表者 |
| 大貝 彰 | 豊橋技術科学大学 教授 | 機関代表者 |

| | | |
|---------|--|----|
| (外部有識者) | | |
| 岡部 篤行 | 東京大学 大学院工学系研究科 教授 | 座長 |
| 上総 周平 | 内閣府 参事官（地震・火山対策担当） | |
| 佐藤 清二 | 国土交通省 河川局防災課災害対策室 室長 | |
| 渡邊 洋己 | 消防庁 防災情報室 室長 | |
| 鈴木 敦夫 | 防衛庁 運用局運用課 課長 | |
| 服巻 正治 | 警察庁 警備局警備課災害対策室 室長 | |
| 藤井 隆 | 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課防災科学技術 推進室 室長 | |
| 室谷 展寛 | 文部科学省 科学技術振興調整費室 室長 | |
| 川津 拓幸 | 気象庁 総務部企画課 防災企画調整官 | |
| 細野 浩 | 三重県防災危機管理局地震対策室 室長 | |
| 武山 哲 | 神奈川県災害対策課 課長 | |
| 古田 功三 | 東京都総務局総合防災部防災通信課 課長 | |
| 福井 弘道 | 慶應義塾大学 総合政策学部 教授 | |
| 林 春男 | 京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 教授 | |
| 河田 恵昭 | 人と防災未来センター センター長 | |
| 大澤 裕 | 埼玉大学 工学部情報工学システム科 教授 | |
| 福和 伸夫 | 名古屋大学 教授 | |
| 大橋 裕寿 | 東京電力(株) 総務部 防災グループマネージャー 部長 | |
| 東方 幸雄 | 東日本電信電話(株) ネットワーク事業推進本部サービス 運営部 災害対策室担当部長 | |

(注：○は研究運営委員長)

表III-2 研究運営委員会の開催と主な議事内容

| 回 | 開催日 | 主な議事内容 |
|-----|------------|--------------|
| 第1回 | 平成17年8月30日 | 平成17年度全体研究計画 |
| 第2回 | 平成18年3月16日 | 平成17年度研究成果 |